

研究報告

オリンピック・パラリンピック教育実践の特徴把握に向けて（その2） ～講師派遣の実績を手掛かりとして～

乳井 勇 二（総合スポーツ科学研究センター）
秋 和 真 澄（総合スポーツ科学研究センター）
富 田 幸 祐（オリンピックスポーツ文化研究所）
関 根 正 美（体育学部／体育スポーツ科学系）

I. はじめに

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会（以下東京2020大会）の開催を控え、オリンピック・パラリンピックレガシーの一つであるオリンピック・パラリンピック教育（以下オリ・パラ教育）の推進が開催都市である東京都を中心にさまざまなプログラムによって行われている¹⁾。日本におけるオリ・パラ教育は、オリンピック・パラリンピックを題材にして、①スポーツの意義や価値等に対する国民の理解・関心の向上、②障害者を含めた多くの国民の幼少期から高齢期までの生涯を通じたスポーツへの主体的な参画（「する」、「見る」、「支える」、「調べる」、「創る」）の定着・拡大、③児童・生徒をはじめとした若者に対する、これからの社会に求められる資質・能力等の育成、を推進することを目的としている²⁾。スポーツ庁は2015年に「オリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議」を設置し、2016年には「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」（以下オリ・パラ事業）を実施している。オリ・パラ事業はスポーツ庁に加え、内閣官房、2020東京オリンピック・パラリンピック組織委員会、日本オリンピック委員会（以下JOC）、日本パラリンピック委員会（以下JPC）、日本財団パラリンピックサポートセンター、そして中核拠点大学として筑波大学、早稲田大学、日本体育大学によって推進されている。中核拠点大学はオリ

ンピック・パラリンピック教育推進地域（以下オリ・パラ教育推進地域）と連携し、オリンピック・パラリンピック教育推進校（以下オリ・パラ教育推進校）の支援を行っている。これに伴い、日本体育大学（NSSU：Nippon Sport Science University）ではオリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業【NSSU-Center for Olympic Paralympic Empowerment（以下N-COPE）】を2016年に設立した。

N-COPEは2016年度に3拠点（石川県、高知県、長崎県）、2017年度には7拠点（千葉県、石川県、兵庫県、高知県、長崎県、千葉市、大阪市）、2018年度には11拠点（北海道、栃木県、千葉県、石川県、兵庫県、高知県、長崎県、大分県、千葉市、新潟市、大阪市）を担当し、推進地域全体への支援を行っている。具体的な支援内容として、地域担当者となるコーディネーター（教育委員会指導主事等）への支援、地域セミナーおよびワークショップの際に推進校教員へのオリ・パラ教育のレクチャー、推進校の授業実践への支援などがある。全国的な広がりを見せているオリ・パラ事業に関しては年度ごとに事例が報告され³⁾、実践事例や活動における特色についての報告も増えてきた（友添他2018、宮崎2019、乳井他2019）。

他にも国際パラリンピック委員会（以下IPC）公認教材である「I'mPOSSIBLE」⁴⁾を利用した事例では佐々木（2018）が授業直後、授業1か月後のアンケートで肯定的な回答が多く、パラリン

ピックに対して関心を高めていることを報告している。さらに学校現場で既に進められている、高等学校体育理論領域の単元となる「ドーピングとスポーツ倫理」における授業作成の試みでは松田（2018）がオリンピックムーブメントとドーピングの事例を基に作成するなど、さまざまな事例が報告され、オリンピック・パラリンピック教育への深まりをみせている。

本稿は、乳井他（2019）と同様の方法で2018年度にN-COPEに報告された取り組みを類別し紹介する。

II. オリ・パラ教育実施校の取組内容

まず、オリ・パラ教育を行ったすべての学校における、講師の派遣状況を示す。（表1）

さらに講師の派遣状況をオリンピック、パラリンピアン、アスリート、パラアスリート、ゲストティーチャーに分類したものを示す。（表2）

表1 講師派遣状況

あり	なし	実施校およびイベント合計
193 (86%)	32 (14%)	225 (100%)

表1からわかる通り、オリ・パラ教育を実施している学校および地域拠点主催イベント（合計225回）のうち86%（193回）が講師を派遣して実践していることが明らかとなった。2017年度（81%）と同様に高い割合で派遣講師を利用しながらオリ・パラ教育が実践されていることを示している。

表2の内訳をみると、オリンピックが19%、パラリンピアンが17%、アスリートが11%、パ

ラアスリートが16%、ゲストティーチャーが36%であった。オリンピックとアスリートを合計すると31%、パラリンピアンとパラアスリートを合計すると34%となり、パラ関係者の方が多いという結果となった。

また、派遣された講師をオリンピック、パラリンピアン、アスリート、パラアスリート、ゲストティーチャーに分類し、それぞれの取組内容を示した（表3～表7）。さらにゲストティーチャーについては業種別の内訳を示した（表8）。

表3のオリンピック派遣内訳をみると、1988年夏季ソウル大会に出場した古賀稔彦氏（柔道）、佐藤寿治氏（体操競技）、冬季カルガリー大会に出場した阿部雅司氏（スキー・ノルディック複合）から2016年リオデジャネイロ大会に出場し、東京大会の出場を目指している3名の選手、小堀勇氣氏（競泳）、上田藍氏（トライアスロン）、右代啓祐氏（陸上競技）まで幅広い年代でのオリンピックが派遣されている。また、石川多映子氏（ソフトボール）が5回、齋藤春香氏（ソフトボール）4回、右代啓祐氏（陸上競技）が3回、山本隆弘氏（バレーボール）3回、齋藤仁志氏（陸上競技）3回、西山麗氏（ソフトボール）2回、弘山晴美氏（陸上競技）が2回と複数回派遣されている。延べ62回のうち45名のオリンピックが派遣されているが、その中で冬季オリンピックに出場したのは4名であった。N-COPEが担当した地域別にみると、栃木県が24回、千葉県が17回、石川県が7回、兵庫県が5回、北海道が3回、大分県が3回、長崎県が2回、高知県が1回、オリンピックを派遣しており、千葉市、新潟市、大阪市はオリンピックの派遣がなかった。

表2 講師派遣内訳

オリンピック	パラリンピアン	アスリート	パラアスリート	ゲストティーチャー	合計
62 (19%)	56 (17%)	36 (11%)	52 (16%)	116 (36%)	322 (100%)

※オリ・パラ教育を実施している学校の中で複数の講師を派遣している学校があるため実施校と講師派遣の合計数が異なっている。

表3 派遣講師オリンピック

地域	学校・イベント名	氏名	競技	オリンピック出場年
北海道	名寄市立名寄西小学校	阿部雅司	ノルディック複合	1988年カルガリー、1992年アルベールビル、1994年リレハンメル
	士別市立士別中学校	松野真奈美	ボブスレー	2006年トリノ、2010年バンクーバー
	登別市立榎別中学校	成田郁久美	バレーボール	1996年アトランタ、2004年アテネ
栃木県	栃木市立国府南小学校	山本隆弘	バレーボール	2008年北京
	栃木市立国府北小学校	山本隆弘	バレーボール	2008年北京
	栃木市立三鴨小学校	齋藤春香	ソフトボール	1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京
		石川多映子	ソフトボール	2000年シドニー
	栃木市立寺尾小学校	西山麗	ソフトボール	2008年北京
	栃木市立吹上小学校	西山麗	ソフトボール	2008年北京
	栃木市立西方小学校	齋藤春香	ソフトボール	1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京
		石川多映子	ソフトボール	2000年シドニー
	栃木市立赤津小学校	齋藤仁志	陸上競技	2008年北京(補欠)
	栃木市立千塚小学校	齋藤仁志	陸上競技	2008年北京(補欠)
	栃木市立大平東小学校	石川多映子	ソフトボール	2000年シドニー
	栃木市立藤岡小学校	山本隆弘	バレーボール	2008年北京
	栃木市立栃木第四小学校	齋藤仁志	陸上競技	2008年北京(補欠)
	栃木市立栃木中央小学校	西山麗	ソフトボール	2008年北京
	栃木市立南小学校	西山麗	ソフトボール	2008年北京
	那須塩原市立西小学校	弘山晴美	陸上競技	1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ
	那須塩原市立南小学校	弘山晴美	陸上競技	1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ
	栃木市立西方中学校	齋藤春香	ソフトボール	1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京
		石川多映子	ソフトボール	2000年シドニー
	栃木市立栃木東中学校	齋藤春香	ソフトボール	1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京
		石川多映子	ソフトボール	2000年シドニー
	那須塩原市立黒磯北中学校	杉町マハウ	陸上競技	2008年北京
	県立小山南高等学校	中村礼子	競泳	2004年アテネ、2008年北京
県立日光明峰高等学校	佐藤寿治	体操競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ	
千葉県	一宮町立一宮小学校	上田藍	トライアスロン	2008年北京、2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ
	一宮町立東浪見小学校	右代啓祐	陸上競技	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ
	印西市立平賀小学校	山崎一彦	陸上競技	1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー
	市原市立明神小学校	鶴見虹子	体操競技	2008年北京、2012年ロンドン
	市川市立菅野小学校	糸数陽一	ウエイトリフティング	2016年リオデジャネイロ
	旭市立第二中学校	宮崎義仁	卓球	1988年ソウル
	館山市立第二中学校	細田雄一	トライアスロン	2008年北京(補欠)、2012年ロンドン
	佐倉市立日井南中学校	小島茂之	陸上競技	2000年シドニー
	佐倉市立根郷中学校	千田健太	フェンシング	2008年北京、2012年ロンドン
	山武市立山武南中学校	古賀稔彦	柔道	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ
		山口美咲	競泳	2008年北京、2016年リオデジャネイロ
	流山市立常盤松中学校	勅使川原郁恵	スケート	1998年長野、2002年ソルトレイクシティ、2006年トリノ
		山本隆弘	バレーボール	2008年北京
	日本体育大学柏高等学校	川澄奈穂美	サッカー	2012年ロンドン
	県立流山南高等学校	朝原宣治	陸上競技	1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京
	県立東金特別支援学校	山崎勇喜	陸上競技	2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン
		高平慎士	陸上競技	2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン
石川県	小松市立栗津小学校	黒田真由	体操競技	2008年北京
	白山市立光野中学校	重友梨佐	陸上競技	2012年ロンドン
	宝達志水町立宝達中学校	永田和美	バレーボール	1992年バルセロナ、1996年アトランタ
	県立鶴来高等学校	岡田弘隆	柔道	1992年バルセロナ
	スポーツ選手ふれあい事業	鹿島丈博	体操競技	2004年アテネ、2008年北京
	スポーツ選手ふれあい事業	谷本歩実	柔道	2004年アテネ、2008年北京
神河町立神河中学校	小堀勇気	競泳	2016年リオデジャネイロ	
	横田真人	陸上競技	2012年ロンドン	
兵庫県	竹澤健介	陸上競技	2008年北京	
	県立川西北陵高等学校	中野(北本)忍	カヌー	2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン
	県立村岡高等学校	堀米光男	クロスカントリー	1998年長野、2002年ソルトレイクシティ
高知県	県立淡路高等学校	三宅宏実	ウエイトリフティング	2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ
	宿毛市立宿毛小学校	三井梨紗子	シンクロナイズドスイミング	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ
長崎県	対馬市立比田郷中学校	右代啓祐	陸上競技	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ
	県立対馬高校	右代啓祐	陸上競技	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ
大分県	由布市立由布川小学校	桑水流裕策	7人制ラグビー	2016年リオデジャネイロ
	大分市立城東中学校	末綱聡子	バドミントン	2008年北京
	別府市立山の手中学校	田中琴乃	新体操	2008年北京、2012年ロンドン

表4 派遣講師パラリンピアン

地域	学校・イベント名	氏名	競技	パラリンピック出場年
北海道	名寄市立名寄西小学校	池崎大輔	車いすラグビー	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ
	網走市立東小中学校	新田佳浩	クロスカントリースキー	2006年トリノ、2010年バンクーバー、2014年ソチ、2018年平昌
	釧路市立常盤中学校	武田豊	アイススレッジスピードスケート	1998年長野
	北海道岩見沢高等養護学校	池崎大輔	車いすラグビー	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ
栃木県	佐野市立山形小学校	増淵倫巳	車いすバスケットボール	2012年ロンドン
	佐野市立田沼小学校	増淵倫巳	車いすバスケットボール	2012年ロンドン
	栃木市立大平中央小学校	神保康広	車いすバスケットボール	1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ
	栃木市立大平東小学校	神保康広	車いすバスケットボール	1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ
	那須塩原市立埼玉小学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン
	那須塩原市立三島小学校	増淵倫巳	車いすバスケットボール	2012年ロンドン
	佐野市立田沼東中学校	増淵倫巳	車いすバスケットボール	2012年ロンドン
	栃木市立大平南中学校	神保康広	車いすバスケットボール	1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ
	栃木市立東陽中学校	増淵倫巳	車いすバスケットボール	2012年ロンドン
	那須塩原市立厚崎中学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン
	那須塩原市立西那須野中学校	眞田卓	車いすテニス	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ
那須塩原市立基根中学校	眞田卓	車いすテニス	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ	
千葉県	喜取市立小見川北小学校	神保康広	車いすバスケットボール	1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ
	山武市立松尾小学校	佐藤圭太	陸上競技	2016年リオデジャネイロ
	習志野市立善澄小学校	古城曉博	陸上競技	2000年シドニー
	成田市立久住小学校	女子アイルランドチーム	水泳	
	長生村立一松小学校	花岡伸和	陸上競技	2004年アテネ、2012年ロンドン
	いすみ市立大原中学校	神保康広	車いすバスケットボール	1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ
	我孫子市立久々寺中学校	宇城元	パワーリフティング	2004年アテネ、2012年ロンドン
	君津市立国西南中学校	高田朋枝	ゴールボール	2008年北京
		泰由加子	トライアスロン	2016年リオデジャネイロ
	市川市立妙典中学校	三宅克己	車いすバスケットボール	1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ
		永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ
	習志野市立第七中学校	古城曉博	陸上競技	2000年シドニー
	松戸市立第五中学校	羽賀理之	車いすラグビー	2016年リオデジャネイロ
	袖ヶ浦市立蔵波中学校	戸田創	陸上競技	2016年リオデジャネイロ
	千葉黎明高等学校	渡邊紫帆	陸上競技	2012年ロンドン
	日本体育大学柏高等学校	堀江航	アイスホッケー	2018年平昌
	県立一宮商業高等学校	三澤拓	アルペンスキー	2018年平昌
県立千葉女子高等学校	泰由加子	トライアスロン	2016年リオデジャネイロ	
県立東金特別支援学校	三澤拓	アルペンスキー	2018年平昌	
石川県	県立鶴岡高等学校	副島正純	陸上競技	2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ
大阪市	大阪市立北恩加島小学校	大前千代子	車いすテニス	1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京
	大阪市立下福島中学校	永尾雄	車いすラグビー	2008年北京
	ホストタウン交流会	女子オーストラリアチーム	車いすバスケットボール	
兵庫県	篠山市立城東小学校	副島正純	陸上競技	2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ
	小野市立市場小学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2016年リオデジャネイロ
	尼崎市立大庄北中学校	伊藤真波	水泳	2008年北京、2012年ロンドン
	県立福山東雲高等学校	吉田綾里架	車いすバスケットボール	2004年アテネ、2008年北京
	県立社高等学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン
	県立長田商業高等学校	伊藤真波	水泳	2008年北京、2012年ロンドン
	県立播磨特別支援学校	北浦春香	陸上競技	2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ
高知県	宿毛市立宿毛小学校	中山和美	陸上競技	2016年リオデジャネイロ
	ゆめチャレ！ School in KOCHI	中山和美	陸上競技	2016年リオデジャネイロ
		中山和美	陸上競技	2016年リオデジャネイロ
長崎県	川棚町立小車小学校	佐藤圭太	陸上競技	2016年リオデジャネイロ
	長崎市立小江原小学校	副島正純	陸上競技	2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ
	長崎市立上長崎小学校	佐藤圭太	陸上競技	2016年リオデジャネイロ
	長崎市立西坂小学校	副島正純	陸上競技	2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ
大分県	大分市立植田南中学校	坂井淳記	卓球	2012年ロンドン
	別府市立貴山中学校	廣道淳	陸上競技	2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン
		中西麻那	陸上競技	2008年北京、2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ
	県立宇佐支援学校	木谷隆行	ボッチャ	2008年北京、2016年リオデジャネイロ

表5 2018年度オリ・パラ事業派遣講師アスリート

地域	学校・イベント名	取組内容
栃木県	栃木市立千塚小学校	外国人近代五種チームとの交流
	那須塩原市立三島小学校	野球選手による講演および実技体験
	那須塩原市立大山小学校	野球選手による講演及び実技指導
	佐野市立田沼西中学校	バスケットボール選手との交流
	県立小山南高等学校	スキー選手による講演および実技指導
千葉県	一宮町立東浪見小学校	サーフィン選手による実技体験
	鴨川市立西条小学校	サッカー選手による講演
	君津市立八重原小学校	陸上競技選手による実技体験
	船橋市立宮本小学校	外国人体操選手との交流
	柏市立酒井根小学校	フェンシング選手による実技体験
	八千代市立高津小学校	水球選手による実技体験
	野田市立清水台小学校	陸上競技選手による講演および実技体験
	流山市立小山小学校	陸上選手による講演および実技体験
	印西市立印旛中学校	外国人ソフトボール選手との交流
	君津市立周西南中学校	陸上競技選手による講演および実技体験
	船橋市立法田中学校	外国人ラグビー選手との交流
	流山市立常盤松中学校	外国人バレーボール選手との交流
	千葉黎明高等学校	外国人ソフトボール選手との交流
新潟市	新潟市立牡丹山小学校	外国人サッカー選手による講演
	新潟市立小針小学校	外国人サッカー選手による講演
	新潟市立沼垂小学校	外国人バスケットボール選手による講演および実技体験
	新潟市立曾根小学校	外国人サッカー選手との講演および実技体験
	新潟市立木山小学校	外国人サッカー選手との講演および実技体験
	新潟市立亀田西中学校	外国人サッカー選手との講演および実技体験
	新潟市立高志中等教育学校	外国人バスケットボール選手による講演および実技指導
大阪市	大阪市立此花中学校	ラグビー選手による講演および実技体験
	大阪市立三国小学校	サッカー選手による講演
兵庫県	淡路市立多賀小学校	ラグビー選手による講演およびラグビー教室
	養父市立大屋中学校	陸上競技選手による講演およびランニング教室
高知県	宿毛市立沖の島小学校	バドミントン選手による講演及び実技指導
	宿毛市立宿毛小学校	フットサル選手による講演
	宿毛市立宿毛中学校	サッカー選手による講演および実技指導
	宿毛市立橋上中学校	サッカー選手による講演および実技指導
長崎県	諫早市立有喜小学校	陸上競技選手による講演および交流
	諫早市立小長井中学校	陸上競技選手による講演および交流
	県立国見高等学校	陸上競技選手による講演および交流

表4のパラリンピアン派遣内訳をみると、1988年ソウル大会に出場した永尾嘉章氏（陸上競技）から2016年リオデジャネイロ大会、2018年平昌大会に出場し、東京大会、2022年北京大会の出場を目指している現役選手など幅広い年代でのパラリンピアンが派遣されている。また、神保康弘氏（車いすバスケットボール）が5回、増淵倫巳

氏（車いすバスケットボール）が4回、副島正純氏（陸上競技）が4回、鈴木徹氏（陸上競技）が3回、佐藤圭太氏（陸上競技）が3回、古城暁博氏（陸上競技）、秦由加子氏（トライアスロン）、三澤拓氏（アルペンスキー）、伊藤真波氏（競泳）、池崎大輔氏（車いすラグビー）、眞田卓氏（車いすテニス）が2回となり、38名のうち11名が複

表6 2018年度オリ・パラ事業派遣講師パラアスリート

地域	学校・イベント名	取組内容
栃木県	栃木市立大平中学校	車いすバスケットボール選手による講演および体験
	浦安市立見明川小学校	外国人車いすバスケットボール選手との交流
千葉県	香取市立新島小学校	アンパティサッカー選手との交流
	長生村立一松小学校	パラ陸上選手による実技体験
	八千代市立高津小学校	アンパティサッカー選手との交流 ポッチャ選手による実技体験
	木更津市立清見台小学校	パラ陸上選手による実技体験
	野田市立清水台小学校	ブラインドサッカー選手による実技体験
	佐倉市立臼井南中学校	デフ陸上競技選手による講演
	秀明大学学校教師学部附属秀明八千代中学校	車いすバスケットボール選手による講演および実技体験
	昭和学院秀英中学校	ゴールボール選手による講演および実技体験
	柏市立田中中学校	ポッチャ選手との交流
	県立八千代高等学校	シッティングバレーボール選手による実技体験
	県立桜が丘特別支援学校	ポッチャ選手との交流
	県立矢切特別支援学校	ポッチャ選手との交流 車いすバスケットボール選手による実技体験
	新潟市	新潟市立横越小学校
新潟市立牡丹山小学校		車いすバスケットボール選手による講演および実技体験
新潟市立根岸小学校		車いすバスケットボール選手による講演および実技体験
新潟市立小針小学校		車いすバスケットボール選手による講演および実技体験
新潟市立沼垂小学校		車いすバスケットボール選手による講演および実技体験
新潟市立曾根小学校		車いすバスケットボール選手との交流
新潟市立大形小学校		車いすバスケットボール選手による講演および実技体験
新潟市立亀田西中学校		車いすバスケットボール選手による講演および実技体験
新潟市立高志中等教育学校		車いすバスケットボール選手による講演および実技体験
石川県	穴水町立穴水小学校	ポッチャ選手との交流 ブラインドサッカー選手による講演および実技体験
	県立七尾特別支援学校	車いすバスケットボール選手による講演および実技体験
大阪市	大阪市立九条南小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験
	大阪市立市岡小学校	外国人車いすバスケットボール選手による実技体験
	大阪市立川辺小学校	車いすバスケットボール選手による講演および実技体験
	大阪市立旭東中学校	シッティングバレーボール選手による講演および実技体験
	大阪市立平野北中学校	車いすバスケットボール選手との交流
高知県	宿毛市立大島小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験
	宿毛市立咸陽小学校	デフサッカー選手による講演およびサッカー教室
	宿毛市立橋上中学校	デフサッカー選手による講演
	あすチャレ！ School in KOCHI	車いすラグビー選手による講演および実技体験
		車いすラグビー選手による講演および実技体験
		車いすラグビー選手による講演および実技体験
		車いすバスケットボール選手による講演および実技体験
車いすバスケットボール選手による講演および実技体験		
車いすバスケットボール選手による講演および実技体験		
車いすバスケットボール選手による講演および実技体験		
大分県	オリンピック・パラリンピック競技体験会	ウィルチェアラグビー選手による講演および実技体験 車いすバスケットボール選手による実技体験 車いすアーチェリー選手による実技体験
	大分トリニータホームゲームイベント	車いすテニス選手による実技体験 車いすマラソン選手による実技体験
		ウィルチェアラグビー選手による実技体験
	きちょくれ祭り	車いすテニス選手による実技体験
	わくわく♪つながる♪音楽祭	車いすマラソン選手、車いすテニス選手による実技体験

数回派遣されていた。延べ56回で38名が派遣されたが、その内16名のパラリンピアンが2020年東京大会、2022年北京大会の出場を目指し、現役選手を継続している。この数は表3で示した3名の現役オリンピックに比べると多いものである。また冬季パラリンピックに出場したのは3名であった。地域別にみると、千葉県が19回、栃木県が12回、兵庫県が7回、北海道、長崎県、大分県が4回、大阪市、高知県が3回、石川県が1回、パラリンピアンを派遣しており、千葉市、新潟市はパラリンピアンを派遣がなかった。

表5のアスリート派遣内訳をみると、サッカー選手が10回、陸上選手が8回、バスケットボール選手が4回など体育の授業等で日常的に行われる知名度の高い競技の選手が多く派遣されていた。また、サッカーやバスケットボール選手の多くは地元のプロチームに所属する外国人選手であり、合計13回派遣されていた。一方で学校の体育等では馴染みのないサーフィン、近代五種、フェンシング、水球などの選手も派遣されていた。地域別にみると千葉県が13回、新潟市が7回、栃木県が5回、高知県が4回、長崎県が3回、大阪市、兵庫県が2回、アスリートを派遣しており、北海道、千葉市、石川県、大分県はアスリートの派遣がなかった。

表6のパラアスリート派遣内訳をみると、車いすバスケットボール選手が26回、ボッチャ選手が6回、車いすラグビー選手が5回など複数回派遣されている。延べ52回のパラアスリートの派遣のうち、半数となる26回が車いすバスケットボール選手であった。またデフサッカー、デフ陸上競技、アンプティサッカー、視覚障がい者クライマーといったパラリンピックでは行われない競技の選手も派遣されていた。地域別にみると、千葉県が15回、新潟市、高知県が10回、大分県が8回、大阪市が5回、石川県が3回、栃木県が1回、パラアスリートを派遣しており、北海道、千葉市、

兵庫県、長崎県はパラアスリートの派遣がなかった。

表7のゲストティーチャーにおいて、講師の業種や取組内容を見ると、それぞれの実践目的に合わせ、コーチや用具のメンテナンスに関わるチームスタッフ、留学や地元に住んでいる外国人、障がい者やパラスポーツと直接関わっている自治体や社会福祉施設職員、競技の運営や強化に関わる競技団体スタッフ、地域の伝統文化講師、障がいを持っている方など多岐に渡る業種の方々が講師として招聘されていた。中でもパラリンピックや障がい者スポーツ、障がいに関わる内容は全115回のうち67回行われていた。地域別にみると、千葉県が62回、高知県が26回、石川県が12回、北海道、大阪市が5回、栃木県、兵庫県が2回、新潟市が1回、ゲストティーチャーを派遣しており、長崎県、大分県はゲストティーチャーの派遣がなかった。

表8のゲストティーチャー業種内訳をみると、競技団体が22%、大学教員が17%、スポーツ関係団体11%、社会福祉施設職員、自治体職員（福祉関係を含む）がそれぞれ10%、外国人講師が5%、医療従事者が4%、公立学校教員、公認指導員がそれぞれ3%、その他が15%であった。

業種内訳でその他（15%）として振り分けた特徴的な取り組みを7つ紹介する。1つ目は「上総おどり」、「茶道」、「牛馬づくり」、「箏」、「おっしょべ音頭」など、地域の伝統文化を伝えるため、地元在住の講師による伝統文化体験である。2つ目は実技指導および体験等を行うため、順天堂大学陸上競技部、順天堂大学体操部所属の現役学生が講師として練習会を実施した。3つ目は障がい者への理解を深めることを目的として、地域在住の視覚障がい者を講師として点字や盲導犬との生活についての学習が行われた。4つ目はボランティア精神やおもてなしの心を育てることを目的として、「大人と子供のための読み聞かせの会」によ

表7 派遣講師ゲストティチャー

地域	学校・イベント名	取組内容	派遣者	業種
北海道	名寄市立名寄西小学校	社会福祉協議会職員を講師としてパラリンピック、バラスポーツについての学習を実施	社会福祉協議会職員	自治体職員
	網走市立東小学校	社会福祉協議会職員を講師として、車いす利用者や障がい者とシッティングバレーボール、ゴールボールの交流を実施	社会福祉協議会職員	自治体職員
	豊後市立朝日中学校	北海道札幌視覚支援学校主幹教諭を講師としてゴールボールの実技体験を実施	北海道札幌視覚支援学校教員	特別支援学校教員
栃木県	栃木市立大平西小学校	日本体育大学特別研究員を講師として「IMPOSSIBLE」の活用方法に関する教員研修を実施	日本体育大学特別研究員	大学教員
	佐野市立田沼西中学校	駐日デンマーク大使を講師として講演を実施	デンマーク大使	外国人講師
千葉県	一宮町立一宮小学校	栃木県ハンドボール協会理事を講師として、オリンピックやハンドボールに関する講話や体験活動を実施	栃木県ハンドボール協会理事	競技団体
	一宮町立東進見小学校	栃木ブレックスの選手とスクールコーチを講師としてバスケットボールの実技体験を実施	栃木ブレックススクールコーチ	競技団体
	一宮町立一宮小学校	いずみ市体育協会サーフィン部の協力によるサーフィン体験を実施	いずみ市体育協会サーフィン部	競技団体
	一宮町立一宮小学校	運動会に向けて一宮町更生保護女性会の協力により「上総おどり」を学んだ	一宮町更生保護女性会	その他
	一宮町立東進見小学校	町の福祉健康課職員を講師として、視覚障害・肢体不自由・高齢者の疑似体験などの福祉体験を実施	一宮市福祉健康課職員	自治体職員
	一宮町立東進見小学校	長生特別支援学校の職員を講師としてポッチャの実技体験を実施	特別支援学校教員	自治体職員
	一宮町立東進見小学校	サーフィン協会会長による競技説明や有力選手の紹介および施設見学を実施	サーフィン協会会長	競技団体
	印西市立いには野小学校	順天堂大学スポーツ健康科学部先任准教授によるポッチャ体験教室	順天堂大学スポーツ健康科学部准教授	大学教員
	印西市立平賀小学校	順天堂大学からスポーツ健康科学部助教によるゴールボール体験教室	順天堂大学スポーツ健康科学部助教	大学教員
	印西市立平賀小学校	順天堂大学陸上部の学生による陸上競技体験教室を実施	順天堂大学陸上競技部	その他
	鎌倉市立見明小学校	(株)スロレングスの方による体方向上・走方向上のために「かけっこ教室」を開催	(株)スロレングス	その他
	鎌倉市立五本松小学校	地元のテニス講師による実技体験	テニス講師	競技団体
	鴨川市立西桑小学校	亀田リハビリテーション病院の方を講師として教員向けのポッチャの歴史や指導方法を学ぶ研修を実施	亀田リハビリテーション病院	医療関係
	鴨川市立西桑小学校	亀田リハビリテーション病院の方によるポッチャ体験	亀田リハビリテーション病院	医療関係
	鴨川市立西桑小学校	オルカ鴨川FCの総監督を含めスタッフ5名の方によるサッカー教室を実施	オルカ鴨川FC総監督	競技団体
	館山市立豊島小学校	オルカ鴨川FCコーチによる講演およびサッカー教室を実施	オルカ鴨川FCコーチ	競技団体
	館山市立豊島小学校	千葉ゴールボールクラブ指導者による体験会を実施	千葉ゴールボールクラブ	競技団体
	君津市立八重原小学校	福祉協議会や地域のボランティアの方を講師として車椅子とアイマスク体験を実施	福祉協議会	自治体職員
	香取市立小見川北小学校	福祉施設への訪問活動	介護老人保健施設おみがわ	社会福祉施設職員
	香取市立小見川北小学校	老人介護施設を訪問し、車いす体験を実施	社会福祉施設職員	社会福祉施設職員
	香取市立新島小学校	地元の茶道講師を招いて茶道体験を実施	茶道講師	その他
	佐倉市立印南小学校	特別養護老人ホームさくらの丘へ訪問	社会福祉施設職員	社会福祉施設職員
	佐倉市立印南小学校	順天堂大学体操部の方を講師として体操教室を実施	順天堂大学体操部	その他
	山武市立松尾小学校	社会福祉協議会を講師として福祉体験学習を実施	社会福祉協議会	社会福祉施設職員
	市原市立明神小学校	市原ポッチャクラブ代表の方を講師としてポッチャ体験を実施	市原ポッチャクラブ代表	競技団体
	市原市立明神小学校	順天堂大学スポーツ健康科学部助教を講師としてゴールボール体験教室	順天堂大学スポーツ健康科学部助教	大学教員
	習志野市立香澄小学校	日本フェンシング協会の方を講師として実技体験教室を実施	日本フェンシング協会	競技団体
	習志野市立香澄小学校	筑波大学客員教授を講師として講演	筑波大学客員教授	大学教員
	習志野市立秋津小学校	東洋大学ライフデザイン学部生活支援学専攻准教授を講師として簡単な英語とアメリカ手話を学ぶ出前授業を実施	東洋大学ライフデザイン学部生活支援学専攻准教授	大学教員
	松戸市立大久保小学校	松戸市とドミニカ共和国のつながりについて観光協会の方による出前授業を実施	観光協会	自治体職員
	成田市立久住小学校	地域の方を講師とし、学校周辺の水田地帯に伝わる伝統的な「牛馬作り」体験を実施	牛馬作り講師・茶道講師	その他
	船橋市立宮本小学校	船橋障がい者スポーツ協会、教育委員会生涯スポーツ課の方を講師としてポッチャ体験を実施	船橋市教育委員会生涯スポーツ課	自治体職員
	柏市立酒井根小学校	テニススクールの方を講師として講演、車いすテニスの見学および車いすの乗車体験を実施	車いすテニススクール講師	競技団体
	八千代市立高津小学校	千葉県ポッチャ協会の方とポッチャの選手を講師としてポッチャ体験を実施	千葉県ポッチャ協会	競技団体
	八千代市立高津小学校	八千代市空手道連盟の方を講師として東京オリンピックの新種目である空手体験を実施	八千代市空手道連盟	競技団体
	野田市立清水台小学校	流山市One'sParaAthleteClubの監督と選手を講師として講演およびブラインドサッカー実技体験を実施	流山市One'sParaAthleteClub監督	競技団体
	一宮町立一宮中学校	右手に障害を持つ元高校球児の方を講師として講演を実施	肢体障がい者	その他
	一宮町立一宮中学校	一宮町在住の外国人が生徒に対して実践的な英会話教室を実施	外国人講師	外国人講師
	一宮町立一宮中学校	地元在住の華、茶道講師を招いて、日本の伝統文化である華、茶道体験を実施	華講師・茶道講師	その他
	柏市立酒井根小学校	順天堂大学准教授を講師として、バスケットボール実技体験を実施	順天堂大学スポーツ科学部准教授	大学教員
	柏市立酒井根小学校	順天堂大学准教授を講師として、パラリンピック種目のゴールボール体験を実施	順天堂大学スポーツ科学部准教授	大学教員
	館山市立第二中学校	館山市スポーツ課職員を講師として講演を実施	館山市スポーツ課	自治体職員
	館山市立第二中学校	筑波大学客員教授を講師として講演を実施	筑波大学客員教授	大学教員
	館山市立第二中学校	亀田病院理学療法士を講師としてゴールボール、ポッチャ実技体験および講演を実施	亀田病院理学療法士	医療関係
	佐倉市立日井南中学校	順天堂大学助教と学生5名を講師として体験学習を実施	順天堂大学スポーツ科学部助教	大学教員
佐倉市立根郷中学校	地区社会福祉協議会、市ボランティアセンター、市障害福祉課の協力により、車椅子体験を実施	地区社会福祉協議会、市ボランティアセンター、市障害福祉課	自治体職員	
佐倉市立根郷中学校	地区社会福祉協議会、社会福祉法人「愛光」の協力により手話体験を実施	社会福祉法人愛光	社会福祉施設職員	
市川市立妙真中学校	元NHKアナウンサー帝京大学准教授を講師として講演を実施	帝京大学准教授	大学教員	
市川市立妙真中学校	東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学専攻准教授を講師として講演を実施	東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学専攻准教授	大学教員	
昭和学院秀英中学校	東洋大学4年・ゴールボール日本代表選手、東洋大学ライフデザイン学部准教授を講師としてゴールボール実技体験および講演を実施	東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学専攻准教授	大学教員	
船橋市立立和館中学校	順天堂大学准教授と学生6名によるバラスポーツ体験授業を実施	順天堂大学スポーツ健康科学部准教授	大学教員	
袖ヶ浦市立藍波中学校	筑波大学客員教授を講師として講演	筑波大学客員教授	大学教員	
富津市立大貫中学校	市社会福祉協議会の方を講師として視覚障がい体験を実施	市社会福祉協議会	自治体職員	
富津市立大貫中学校	日本ブラインドマラソン協会強化委員長を講師として、ブラインドマラソン体験および講演を実施	日本ブラインドマラソン協会強化委員長	競技団体	
富津市立大貫中学校	地元在住の農業従事者を講師として田植え体験を実施	農業従事者	その他	
野田市立東部中学校	特別支援学校教諭を講師として、車いす乗車体験および講演を実施	特別支援学校教員	特別支援学校教員	
流山市立常盤松中学校	日本ポッチャ協会教務指導部長を講師として講演を実施	日本ポッチャ協会強化指導部長	競技団体	
千葉県立一宮商業高等学校	一宮町オリンピック推進課や大会関係者を講師としてサーフィン競技についての講演を実施	一宮町オリンピック推進課	自治体職員	
千葉県立市原緑高等学校	千葉県薬剤師会の方を講師としてドーピングについての講演を実施	千葉県薬剤師会	医療関係	
千葉県立千葉女子高等学校	大人と子供のための読みきかせの会の方を講師としてちいちゃんのかげおくりの公演を実施	大人と子供のための読みきかせの会	その他	
千葉県立八千代高等学校	スペシャルオリンピックス日本千葉の事務局長、パラリンピック水泳コーチを講師として講演を実施	スペシャルオリンピックス日本千葉	競技団体	
千葉県立八千代高等学校	八千代市社会福祉協議会を講師として、車いす体験・アイマスク体験・高齢者疑似体験を実施	八千代市社会福祉協議会	社会福祉施設職員	
千葉県立流山南高等学校	江戸川学園おおたかの森専門学校の方を講師として、車いす体験・補助体験を実施	江戸川学園おおたかの森専門学校講師	専門学校講師	
千葉県立稲が丘特別支援学校	市原ポッチャクラブの選手を講師として選手との交流および実技体験を実施	市原ポッチャクラブ	競技団体	
千葉市	千葉市立高洲小学校	車椅子バスケットボール協会の方を講師として実技体験を実施	車いすバスケットボール協会	競技団体
千葉市	穴水小学校	ブラインドサッカー選手とチーム代表者との実技体験	ブラインドサッカーチーム代表	競技団体
千葉市	小松市立栗津小学校	地域の体操クラブの方を講師として実技体験	体操クラブ	競技団体
千葉市	小松市立栗津小学校	粟津の地域に昔から伝わるおっしょへ音頭を、地元在住の方を講師として体験	おっしょへ音頭講師	その他

石川県	宝達志水町立宝達中学校	日本赤十字石川県支部救急指導員を講師として救急処置講習会を実施 金沢医科大学小児科医の先生を講師として学校における食物アレルギーについての研修会を実施	日本赤十字石川県支部救急指導員 金沢医科大学小児科医	公認指導員 医務関係	
	宝達志水町立宝達中学校	日本赤十字石川県支部救急指導員を講師として救急処置講習会を実施	日本赤十字石川県支部救急指導員	公認指導員	
	石川県立津幡高等学校	石川県補聴に学ぶ会の方を講師として清掃ボランティアを実施 学校法人了徳寺大学准教授兼道部副監督を講師として講演	石川県補聴に学ぶ会 了徳寺大学准教授	その他 大学教員	
	石川県立鶴来高等学校	石川県介護福祉士会の方を講師として福祉体験を実施 金城大学の方を講師としてと自動具制作の特別授業を実施	石川県介護福祉士会 金城大学	社会福祉施設職員 大学教員	
	石川県立七尾特別支援学校	障がい者スポーツ協会の方を講師としてポッチャ体験を実施 障がい者スポーツ協会の方を講師として5種目の障がい者スポーツ体験を実施	障がい者スポーツ協会 障がい者スポーツ協会	スポーツ協会 スポーツ協会	
新潟市	新潟市立小針小学校	アルビレックス新潟管理栄養士・公認スポーツ栄養士を講師としてスポーツと食についての講演	管理栄養士・スポーツ栄養士	公認指導員	
大阪市	大阪市立三国小学校	Jリーグセレッソ大阪のコーチを講師として実技指導を実施	セレッソ大阪コーチ	競技団体	
	大阪市立市岡小学校	地元在住のオーストラリア人の方を講師としてオーストラリアの国土や文化についての学習 大阪体育大学客員教授を講師としてパラリンピックについての講演を実施	オーストラリア人講師 大阪体育大学客員教授	外国人講師 大学教員	
	大阪市立白島小学校	日本ブラインドサッカー協会の方を講師としてブラインドサッカー体験を実施	日本ブラインドサッカー協会	競技団体	
	大阪ビジネスフロンティア高等学校	日本体育大学特別研究員を講師としてオリンピックの理念やパラリンピックと共生社会についての特別授業を実施	日本体育大学特別研究員	大学教員	
兵庫県	淡路市立多賀小学校	兵庫県ラグビーフットボール協会の方を講師としてラグビーの実技体験を実施 一般社団法人PRAS代表理事を講師としてラグビーの実技体験を実施	兵庫県ラグビーフットボール協会 一般社団法人PRAS代表理事	競技団体 スポーツ関係団体	
	高知県	高知県障害者スポーツセンター職員による講演	障がい者スポーツセンター職員	スポーツ関係団体	
高知県	宿毛市立沖の島小学校	幼児体育家による講演および実技指導	幼児体育家	スポーツ関係団体	
	宿毛市立橋上小学校	視覚障がいの方を講師として講演	視覚障がい者	その他	
	宿毛市立山倉小学校	地元在住のオランダ人講師として交流	オランダ人講師	外国人講師	
	宿毛市立山倉小学校	視覚障がい者を講師として盲導犬との生活についての講演	視覚障がい者	その他	
	宿毛市立小筑紫小学校	障がい者支援施設こくふ施設長を講師として人権講演会を実施	社会福祉法人こくふ施設長	社会福祉施設職員	
	宿毛市立立田川小学校	視覚障がい者を講師として盲導犬との生活についての講演	視覚障がい者	その他	
	宿毛市立威蔵小学校	早稲田大学中国人留学生との交流 宿毛市役所企画課の職員から、新卒の役割について学習	中国人留学生 宿毛市役所職員	外国人講師 自治体職員	
	宿毛市立橋上中学校	社会福祉センター職員による高齢者の疑似体験授業 地元に住んでいる、高齢者とのふれあい学習	社会福祉施設職員 地域在住高齢者	社会福祉施設職員 その他	
	宿毛市立宿毛中学校	宿毛市内14カ所の障がい者、高齢者支援施設で福祉体験学習を実施した	社会福祉施設職員	社会福祉施設職員	
	宿毛市立小筑紫中学校	高知県障害者スポーツセンター職員による講演	障がい者スポーツセンター職員	スポーツ関係団体	
	宿毛市立東中学校	高知県障害者スポーツセンター職員による講演	障がい者スポーツセンター職員	スポーツ関係団体	
	高知県	宿毛市立片島中学校	地域の空手指導者による実技体験	空手指導者	競技団体
			立命館アジア大学准教授によるコミュニケーションの大切さについての講演	立命館アジア大学准教授	大学教員
			地元在住のオランダ人講師として交流	オランダ人講師	外国人講師
			県内民間企業の方を講師としてマナー教室を開催	民間企業社員	その他
県特別支援教育アドバイザーを講師として、障害者理解のための授業を実施			特別支援教育アドバイザー	自治体職員	
包括支援センターの方を講師として認知症について学ぶ学習を実施			包括支援センター	社会福祉施設職員	
高知県	パラスポーツ体験教室	総合型地域スポーツクラブの特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師としてポッチャ体験を実施	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体	
		総合型地域スポーツクラブの特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師としてゴールボール体験を実施	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体	
		総合型地域スポーツクラブの特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師としてポッチャ体験を実施	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体	
		総合型地域スポーツクラブの特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師としてゴールボール体験を実施	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体	
		総合型地域スポーツクラブの特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師としてポッチャ体験を実施	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体	
		総合型地域スポーツクラブの特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師としてポッチャ体験を実施	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体	

表8 ゲストティーチャー業種内訳

教員	大学教員	競技団体	外国人講師	スポーツ関係団体	公認指導員	社会福祉施設職員	自治体職員(福祉関係を含む)	医療従事者	その他	合計
3 (3%)	19 (17%)	25 (22%)	6 (5%)	13 (11%)	3 (3%)	12 (10%)	12 (10%)	5 (4%)	17 (15%)	115 (100%)

る公演、「石川県掃除に学ぶ会」の清掃ボランティアが行われた。5つ目は体力向上・走力向上を目的として、「(株)スポレングス」によるかけっこ教室が行われた。6つ目はおもてなしの心を育てることを目的として、地元企業によるマナー教室が行われた。7つ目は地域の伝統文化の理解を深めることを目的として、地元在住の農業従事者を講師に田植え体験、地元在住の高齢者を招いてふれ

あい学習が行われた。

このようにそれぞれのテーマに沿って、地域の人材を活用しながらさまざまな実践が行われ、広がりを見せている。

Ⅲ. まとめ

本稿ではオリ・パラ事業における実践報告書を

もとに特徴把握に向けた講師派遣の内容分析を行った。オリ・パラ教育の理解が深まっていくことでテーマに合わせた人材を活用し、オリンピック・パラリンピアンに拘らず、地域在住や地域出身などゆかりのあるアスリートの派遣が増えていることが確認できる。岡田他（2018）はオリ・パラ教育を継続的に実施する上の困難として「事務手続きの手間」、「よい実践への準備」をあげている。オリンピックやパラリンピアンを派遣する際に日程調整や講師の選定などさまざまな事務手続きが必要となり、教員の負担となっていることを考えると著名なオリンピック・パラリンピアンを招聘するよりも地元在住や地元出身のアスリートやパラアスリートを招聘の方が日程調整や講師との連携も取りやすくなる。教員の負担も軽減することから、こうしたアスリートやパラアスリートの招聘が増加したと考えられる。また N-COPE が支援している地域セミナーにおいては、オリンピックやパラリンピアンなどトップアスリートの派遣に拘らず、5つのテーマに沿って、それぞれのテーマに見合った講師を選定し、実践の計画を促している。この点も影響していることが考えられる。しかし、報告書からは「アスリートが多忙のため、十分な打ち合わせができなかった。」、「講師や教室の内容など連絡調整が直前にならないと分からない。」、「日時の調整が難しい。」など日程調整に関する事、「オリ・パラ教育の定着のためには低学年からの取組が必要である」、「保護者、地域も巻き込んだ活動、学習を展開していく必要がある。」、「児童だけでなく、地域も巻き込んだ活動に発展させていきたい。」などオリ・パラ教育の継続や拡大に向けた課題、「オリンピックを招聘するための経費の確保が難しい」、「学校のみで競技用車いすなどの大型の用具を調達するのは困難」、「活動内容によっては自校での用具の準備が難しい」など、岡田他（2018）と同様に環境面に関するさまざまな視点から多くの課題が挙げられており、オリ・パラ教育の継続や定着に向けてはこのような課題の解決策を見いだしていくこ

とが急務である。

依田他（2017）はオリンピック・パラリンピック教育の現状と課題について、各都道府県教育委員会担当者を対象とした調査を行い、招聘した講師は「オリンピック選手」が最も高い値であったが、今後どのような講師を派遣したいかで最も高い値を示したのは「パラリンピック選手」であったことを明らかにしている。

本稿で明らかにした通り、パラリンピアンとパラリンピックを目指しているパラアスリートの派遣を合計すると2018年度34%（延べ108回）であり、オリンピック・パラリンピアンだけではないが、オリンピックを含めた健常者アスリートよりもパラリンピアンを含めたパラアスリートが増加している。本稿の結果が、依田ほか（2017）の調査結果による都道府県教育委員会担当者の意向が形となって表れてきていると考えられる。また、この背景には2016年から日本財団パラリンピックサポートセンターが行っているあすチャレ！School⁵⁾などによってパラリンピックやパラスポーツへの理解が深まってきたことも考えられるだろう。

またゲストティーチャーの業種内訳では理学療法士、薬剤師、小児科医などの医療従事者が障がい者スポーツやスポーツに関わる専門的な知識を学習することを目的として派遣されていた。派遣講師内訳（表2）やゲストティーチャーの業種内訳（表8）をみても、パラスポーツや障がい者への理解を深めることを目的とした実践が増えている。これは総合的な学習の時間において福祉の学習に関連付けた取り組みやIPC公認教材である「I'mPOSSIBLE」を活用し、パラリンピックやパラスポーツへの理解を深めていく学習が多く実践されていることがこのような結果に繋がったと考えられる。

本稿ではオリ・パラ教育実践の特徴把握に向けて講師派遣の内容分析を乳井他（2019）と同様の方法で行った。パラリンピアンやパラスポーツ選手の派遣が増えてきたことや、ゲストティー

チャーの業種が増えるなど、さまざまな人材が活用され、テーマに応じたオリ・パラ教育が展開されてくるようになってきたことが確認できる。このような広がりから東京2020大会後にオリ・パラ教育がレガシーとして受け継がれるためには、学校現場で児童・生徒と直接接する先生方に対して、実践方法に関する具体的な方策や情報提供等の支援をさらに充実させることが重要となってくる。また、児童・生徒だけでなく保護者や地域とともに取り組み、幅広い年代が同時に関わることでできる方策も検討していくことが必要であると感じた。しかし本稿はN-COPEが支援している11地域225校の実践を基にした報告となるため、地域によって推進校数や校種、学校での実施回数もばらつきがある。全国で行われているオリ・パラ教育の実践データ⁶⁾と効果の検証を積み重ねていくことが必要であり、今後の課題としたい。

注

- ¹⁾ 東京都教育委員会（2016）「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針。
(<https://www.o.p.edu.metro.tokyo.jp/opedu/static/page/admin-school/pdf/20q1e202.pdf>)
代表的なもととして東京2020教育プログラムが挙げることができる。東京2020教育プログラムは東京2020参画プログラムの一部としても位置付けられ、この東京2020参画プログラムには、スポーツ・健康、街づくり、持続可能性、文化、教育、経済・テクノロジー、復興、オール・ジャパン・世界への発信の8つの分野が設けられている。公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会HPを参照。<https://tokyo2020.jp/jp/get-involved/certification/logo/>
また他にも、パナソニック株式会社による「オリンピックとパラリンピックを題材とした教育プログラム」といった企業によるプログラムも存在する。

(<https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/child/education/program.html>)

- ²⁾ オリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議(2016)オリンピック・パラリンピック教育推進に向けて最終報告. p. 4. http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/shingi/004_index/toushin/_icsFiles/afieldfile/2016/07/29/1375094_01.pdf
- ³⁾ N-COPE（2019）平成30年度スポーツ庁委託事業 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業報告書 <https://www.nittai.ac.jp/ncope/reports/index.html>.
- ⁴⁾ 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会（2017）I'mPOSSIBLE.
- ⁵⁾ 日本財団パラリンピックサポートセンター、あすチャレ！ School, <https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/school/>.
- ⁶⁾ 筑波大学オリンピック教育プラットフォーム（CORE）、N-COPE、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター（ROPE）による実践事例集が下記にて公開されている。CORE、N-COPE、ROPE（2019）平成30年度スポーツ庁委託事業オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業実践事例集。
<http://core.taiiku.tsukuba.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/201900e899103b331ab8e1b822cf6d70-1.pdf>

引用文献（引用順）

友添秀則，深見英一郎，吉永武史，岡田悠佑，根本想，竹村瑞穂，小野雄大，青木彩葉，鈴木康介（2018）早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターにおけるオリンピック・パラリンピック教育の取り組み：小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校におけるオリンピック・

パラリンピック教育実践, スポーツ科学研究(15), 1-16, 2018.

宮崎明世 (2019) 学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の展開と評価: 2016・2017年オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業報告書から, 体育学研究 64 (2), 855-868, 2019.

乳井勇二, 秋和真澄, 富田幸祐, 関根正美 (2019) オリンピック・パラリンピック教育実践の特徴把握に向けて: 講師派遣の実績を手掛かりとして, オリンピックスポーツ文化研究 (4), 149-155, 2019.

佐々木浩 (2019) オリンピック・パラリンピック教育に関する実践的研究, 初等教育論集 (20), 57-67, 2019.

松田広 (2018) 高等学校「体育理論」領域における授業作成の試みに関する研究- 単元「ドーピングとスポーツ理論」の授業評価尺度の開発を通して-, 福祉健康科学研究 13 (1), 97-110, 2018.

岡田悠佑, 友添秀則, 深見英一郎, 吉永武史, 根本想 (2018) 日本におけるオリンピック・パラリンピック教育の促進方法に関する研究: オリンピック・パラリンピック教育を実施した教員の視点に着目して, 体育学研究 63: 871 - 883, 2018.

依田充代, 清宮孝文, 門屋貴久 (2017) オリンピック・パラリンピック教育の現状と課題, オリンピックスポーツ文化研究 (2), 31-45, 2017.